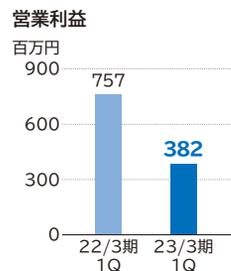


# セグメント情報 2023年3月期第1四半期連結累計期間

## 印刷材・産業工材関連

売上高 **385億50**百万円 (23.4%増)

営業利益 **3億82**百万円 (49.4%減)



## 印刷・情報材事業部門

売上高 **311億29**百万円 (32.3%増)

### 主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム



## 産業工材事業部門

売上高 **74億20**百万円 (3.6%減)

### 主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム



## 事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

印刷・情報材事業部門はシール・ラベル用粘着製品が国内ではペットボトル用ラベルや各種環境配慮製品で新規採用が進んだほか、宅配・物流関連の需要が増加したことなどにより堅調に推移し、海外では米国における買収効果もあったことから、大きな伸長となりました。

産業工材事業部門はウィンドーフィルムや自動車用粘着製品が海外で堅調に推移しましたが、国内では自動車の減産影響を受けて需要が低迷し、減少となりました。

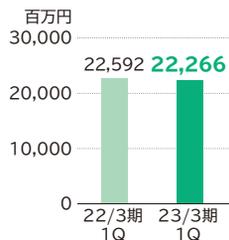
セグメント営業利益は原燃料価格や物流コストの上昇などの影響を大きく受け、前年同期に比べ減少しました。

## 電子・光学関連

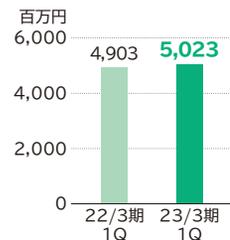
売上高 **222億66**百万円 (1.4%減)

営業利益 **50億23**百万円 (2.4%増)

売上高



営業利益



## アドバンストマテリアルズ事業部門

売上高 **164億74**百万円 (2.0%減)

### 主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ



## オプティカル材事業部門

売上高 **57億92**百万円 (0.3%増)

### 主要製品

- 偏光フィルム／粘着加工
- タッチパネル関連製品



## 事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

アドバンストマテリアルズ事業部門は半導体関連粘着テープや関連装置は堅調に推移したものの、積層セラミックコンデンサ関連テープがスマートフォン用の需要低迷や自動車の減産影響を受け、低調に推移しました。

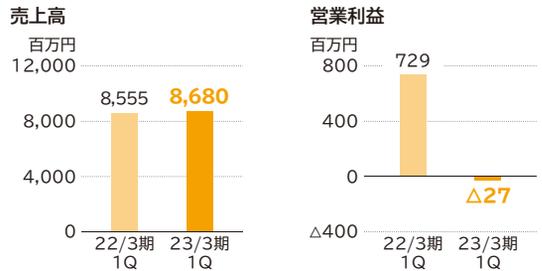
オプティカル材事業部門は光学ディスプレイ関連粘着製品が大型テレビやスマートフォン用などの需要低迷の影響を受けたものの、車載用タッチパネル関連製品が伸長し、前年同期並みとなりました。

セグメント営業利益は製品構成の改善などにより、前年同期に比べ増加しました。

## 洋紙・加工材関連

売上高 **86億80**百万円 (1.5%増)

営業利益 **△27**百万円 (－)



### 洋紙事業部門

売上高 **40億36**百万円 (0.5%減)

#### 主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙



### 加工材事業部門

売上高 **46億43**百万円 (3.2%増)

#### 主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙



## 事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

洋紙事業部門はカラー封筒用紙が前年同期並みとなったほか、耐油耐水紙がテイクアウト需要の増加などにより堅調に推移しましたが、工業用特殊紙の中国向け需要が減少したことなどにより、低調に推移しました。

加工材事業部門は合成皮革用工程紙が国内外で自動車の減産影響を受けて需要が低迷しましたが、一般粘着製品用および電子材料用剥離紙が堅調に推移したほか、炭素繊維複合材料用工程紙もスポーツ・レジャー用の需要が順調に推移したことなどにより、増加となりました。

セグメント営業利益はパルプを中心とした原燃料価格の上昇などの影響を大きく受け、営業損失となりました。

# 株式情報 (2022年6月30日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式を除く)	68,624,941株
単元株式数	100株
株主数	6,849人

## 自己株式の取得終了のお知らせ

2021年11月8日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得を終了しましたので、お知らせいたします。

- (1) 取得した株式の総数 4,000,000株
- (2) 取得価額の総額 10,092,664,800円
- (3) 取得期間 2021年11月9日～2022年7月19日

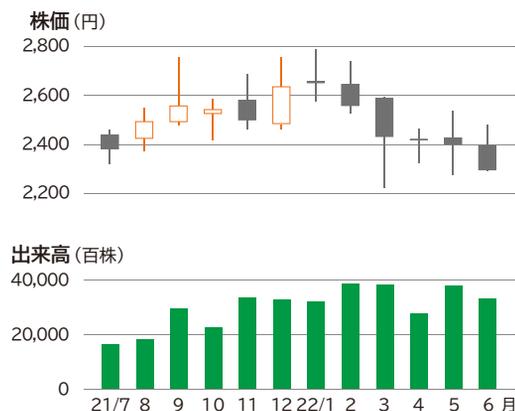
## 大株主の状況 (上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	21,293	31.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,160	10.43
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	3,763	5.48
全国共済農業協同組合連合会	2,522	3.67
庄司 たみ江	1,796	2.61
株式会社かんぼ生命保険	1,420	2.06
リンテック従業員持株会	1,173	1.70
塩飽 恵以子	1,043	1.52
塩飽 一誉子	803	1.17
庄司 早木子	797	1.16
庄司 光江	797	1.16

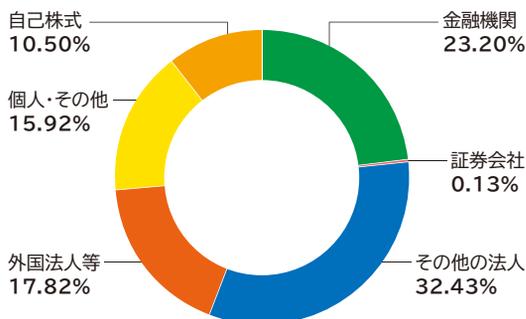
注1. 当社は自己株式8,051,499株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

## 株価および出来高の推移 (2021年7月～2022年6月)



## 所有者別分布比率



## 会社概要 (2022年6月30日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社設立	東京都板橋区本町23-23 1934年10月15日
資本金	233億4,159万6,911円
上場	東京証券取引所プライム市場
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 5,158人 単体: 2,628人 (2022年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻 (群馬県)、熊谷・伊奈 (埼玉県)、千葉 (千葉県)、 龍野・新宮 (兵庫県)、小松島 (徳島県)、三島・土居・新居浜 (愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま (埼玉県) 海外事務所: ハノイ (ベトナム)
連結子会社	国内: 3社 海外: 39社

## 株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	<a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou">www.tr.mufg.jp/daikou</a>

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

法定公告掲載ホームページアドレス  
[www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html](http://www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html)



リンテック株式会社 *Linking your dreams*

● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23  
URL [www.lintec.co.jp](http://www.lintec.co.jp)

IRメール配信サービス  
のお知らせ



当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。

[www.lintec.co.jp/ir](http://www.lintec.co.jp/ir)



※スマートフォンなどでこの二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウエーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

発行 広報・IR室 2022年9月  
TEL. (03) 5248-7741  
FAX. (03) 5248-7754